

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

高知市長 桑名 龍吾

市町村名 (市町村コード)	高知市 (392014)
地域名 (地域内農業集落名)	土佐山中切地区 ( 土佐山中切 )
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年9月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、農業者の平均年齢が67.6歳。大部分の耕作地について10年後は引き続き耕作を行うこととなっているが、今後農業従事者の減少が予想される。また、狭小区画・急傾斜地の農地が多く、作業効率が悪いことから、集約化も難しい。さらに有害鳥獣による農作物への被害もあることから、今後耕作放棄地が増加することが懸念される。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地域内外から新規就農者を受け入れたり、親元就農者を確保したりして農業従事者の減少を食い止める。
- ・(一財)とさやま開発公社に農地管理を委託し、放棄地を増加させないよう努める。
- ・ドローン防除等のスマート農業や省力化技術の導入による労働負担の軽減を図る。
- ・協定内で協力して耕作を行う。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全集落の農地利用は、地域内外から新規就農希望者の受け入れや、親元就農者等を確保することで対応していく。</li> <li>・(一財)とさやま開発公社に農地管理を委託し、放棄地を増加させないよう努める。</li> <li>・賃貸可能な場合は、担い手に集積できる農地は集積していく。</li> <li>・新規就農者に中山間地域等直接支払制度の協定に加入してもらい対応していく。</li> </ul>
(2)農地中間管理機構の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに活用している農業者もいるが、中間管理機構からの広報を通じて貸借のメリットを知ってもらい、今後も活用していく。</li> </ul>
(3)基盤整備事業への取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地整備に活用可能な補助事業を活用し、狭小・急傾斜農地の耕作条件を改善し、生産性の向上に取り組む。</li> </ul>
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭フレッシュや(一財)とさやま開発公社に農地管理を委託し、放棄地を増加させないよう努める。</li> <li>・新規就農者に中山間地域等直接支払制度の協定に加入してもらい対応していく。</li> </ul>
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一財)とさやま開発公社に農地管理を委託放棄地を増加させないよう努める。</li> <li>・旭フレッシュ株式会社が行っているドローン防除や、農業協同組合の無料職業紹介の制度活用し、収穫期の労働力を確保する。</li> </ul>

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①新たに狩猟免許を取得する者を募り、取得費用の支援を行う。
- ③農業機械(チップー等)を導入し省力化を図る。
- ⑩オーベルジュ土佐山等でのイベントを通して地域内外の住民と交流を深め、集落の活性や自治機能の強化を図る。